



## ★2021年度入学式★

<<入学式における阿南孝也学校長の式辞より(一部抜粋)>> 4月8日

### ○中学入学式

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは今日から洛星中学校の1年生です。教職員一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。

先週の土曜日4月3日の夜、世界中のカトリック教会では、復活徹夜祭が行われました。私たちのために十字架にかかり亡くなってくださったイエス・キリストが、死に打ち勝ち復活されたことを祝う祈りの式です。復活されたキリストのシンボルは光です。電気を消して真っ暗になった聖堂の中で、キリストの復活を象徴するろうそくに火が灯されます。そして参加者一人ひとりが持つろうそくに、その火が移されて、聖堂全体がろうそくの明かりで満たされ、ご復活を祝う聖歌を歌い、祈りを捧げるのです。新入生の皆さん、ろうそくの灯りって不思議だと思いませんか。たいていの物は人に分けると少なくなりますね。でもろうそくの火は、隣の人に分けるとどうなるでしょうか？そう、輝きが2倍になるのです。私たちの心も同じです。人の痛みに気づく優しい心、困っている人を助けようとする強い心を燃え立たせて、その火を伝えていくことができたならば、一人ひとりの心に灯りが灯され、お互いを思いやる素晴らしい集団が作られていくことでしょう。70期生の皆さんが、温かな仲間となって輝きを増し、成長してくれることを願っています。ろうそくは、自らを削りながら周囲の人に明るさや温かさを与えます。洛星中学校に入学した皆さんが、苦しみの中にある人に寄り添い、他者のために喜んで自分を捧げる生き方を選ぶ青年として成長してほしい、そう願っています。

世界のカトリック教会のリーダー教皇フランシスコは、コロナ危機から抜け出すには「分断ではなく、団結して未来をつくることです」と訴えかけられました。コロナ感染は、人類は皆、地球号という同じ船に乗り合わせていることに気づく機会となりました。ワクチン供給の知らせは大きな希望です。しかし、同じ船に乗り合わせている世界中の人に供給されるのでなければ、世界からリスクが消え去ることにはならないのです。新入生の皆さん、知識を深め、広い視野を養い、思考力に富んだ青年として成長し、世界の人々と連帯し、人類の幸せな未来を築く人となってください。

### ○高校入学式

洛星は「自由な学校である」と言われます。皆さんは自由に対してどのようなイメージを持っているのでしょうか。好き勝手に何をしてもよいという意味ではないことは、わかっていると思います。「自由」は、「自(おの)ずからに由(よ)る」と書きます。元は仏教の用語であり、明治期に freedom や liberty の訳として使われるようになりました。自由とは、自分の中に正しい基準があり、責任を持って行動できるという意味なのです。

聖書にも、イエス・キリストの「わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」という有名な言葉があります。洛星の生徒手帳には、生徒心得の先頭に「自由への道」というタイトルで、この言葉が語られています。高校生活のスタートにあたり、ぜひ生徒手帳の「自由への道」を読んで、その意味を味わってください。

イエス・キリストは、生涯を通じて、常に弱い立場に立たされた人の味方でした。世界に目を向けますと、残念ながら、紛争や貧困などにより命の重さが同じとはいえない現実が存在します。傷ついている人々のために何ができるのか、どのような社会を築いていけばよいのか、日々の学びを通して答えを探す努力を続けてください。

洛星高校に入学された皆さん、コロナが収束したとき、どのような社会になればよいと思いますか？元に戻りたい部分と、戻すことなく変えていきたい部分を見極めて、より良い社会を築くチャンスとして生かしてほしい、そう願っています。

高校生になり、授業内容がより高度なものになることでしょう。今一度毎日の生活を点検し、日々の学習の質向上に努めることが、学ぶ楽しさを体験することにつながっていくと確信しています。洛星は学ぶ機会が豊富にある学校です。また切磋琢磨するよき仲間にも恵まれています。この環境を生かし、クラブ活動や文化祭、体育祭、宗教行事など、さまざまな活動への積極的な参加を心掛けてください。洛星高校での3年間で、自ら学ぶことの楽しさを知る人になってください。

## ○ 始業式より 4月9日

皆さんは、今日から始まる2021年度、楽しい学校生活、楽しい毎日を過ごしたいと願っていますか？楽しい日々になるために必要なものは何でしょうか。その瞬間楽しくても、すぐ消え去ってしまうものでは、人は本当の意味では心が満たされることはないでしょう。教皇フランシスコは、世界中の青年に「幸せになる勇氣を持つてではありませんか」と訴えかけられたのです。「若い皆さん、皆さんは本当に幸福を求めていますか。うわべの幸せにとらわれがちな現代において、私たちは些細なことで満足し、人生は『つまらないもの』だと考える危険にさらされています。偉大なものを求めてください。心を開いてください。私たちは決して引きずられてはなりません。潮流に逆らう勇氣をもってください。思い切って本当の幸せを探してください。その場限りの表面的な使い捨て文化を否定してください」と言われました。始業式に当たり、教皇の励ましの言葉を贈ります。

青色LEDの開発に成功しノーベル物理学賞を受賞した赤崎勇さんが4月1日、亡くなりました。赤崎さんは当初はほとんど見向きもされなかった窒化ガリウムに注目し、青い光を出すのに必要な高品質の結晶を作り出し、青色LEDの開発に初めて成功しました。この成果によって赤・緑・青の光の3原色のLEDがすべてそろい、フルカラーのディスプレイなどさまざまな分野でLEDの実用化の可能性を広げました。赤崎先生たちは、3千回に及ぶ実験失敗の中

で、いつものように実験がうまくいかなかったときに、偶然大発見をしたと話されています。「あきらめずに続けることが大切です」とのコメントが印象的でした。

中学高校時代は、様々なことを吸収し、自己を形成する大切な時期です。「継続は力なり」。授業を大切に、学ぶ楽しさを知る人になってください。またキリストの生き方にならい、人の痛みに気づく心を育んでください。洛星で学ぶ皆さんが、神からいただいた賜物を磨き伸ばして、心身ともに豊かな青年として成長してくれることを願っています。

今年1年間、学校生活が、規律の保たれた、学ぶ雰囲気に満ちたものとなりますように、力を合わせていきましょう。4月を表す“April”の語源は、ラテン語の“Aprilis”これは「開く」という意味の言葉です。洛星で学ぶ皆さんが、心を開いて、互いに学びあい、高めあう仲間として、心も頭も体も健やかに成長してくれることを願って、始業式に当たっての言葉といたします。